

# 将来のまちについて意見交換

## 町まちづくり町民会議



真剣に話し合い

### まちの課題や

将来のまちづくりについて話し合う、町まちづくり町民会議（生田公恵会長）が、6月18日、町役場で開かれました。

2回目の会議となる今回は、25人の委員と景山町長が出席し、それぞれの意見を出し合ったり、今後の会の進め方などについて話し合いを行いました。

### 意見を聞きながら施策を

会議では、はじめに景山町長が「日を追うごとに経済情勢が厳しさを増しており、町内でもスーパーや工場の閉鎖など、不況を実感しています。そんな中、国の経済対策を利用し、町営バス車両を買った

り、小学校の耐震調査を行いました。今後も経済対策を活用して、道路や橋の改修などを先送りしていた公共事業などを計画しています。また、地域情報化については、地上デジタル放送の移行に向けての中継局整備や携帯電話の不感地区の解消、携帯電話を使った高速インターネットの普及

など、無線通信設備の充実に力を入れたいと考えています。皆さんのご協力により、町財政も黒字に転換できました。これからも皆さんの知恵をお借りして施策に取り組みます」とあいさつ。町の現状や施策などについて委員に説明しました。

## 会議のあり方など議論

今回の会議では、今後の会議をどう進めていくかや、委員それぞれが感じていることなどについて、活発に意見を出し合いました。

### 主な意見など

【まちの課題・問題点など】  
消防団員が減り、不安に思っている。若い町民の人に多く入ってほしい

町のホームページに、「携帯電話でブロードバンド並みの高速通信が可能になる」とあったが、詳しく教えてほしい

10年後、20年後を見据え、元気で笑っていられるようなまちにしたい

子育てや農業の視点で話をしてほしい。少子化が問題になっている今、子どもにかける費用は確保してほしい

若者が集まり、安心して住めるまちにしたい

自分の子どもが大きくなったときに、「やっぱり日野町がいい」と思えるようなまちにしたい

### 【会議の進め方など】

今何をすべきか、自分ができるところを委員一人一人が考える。役場職員とコミュニケーションをとることも必要

第1期会議の提言を、長期的な視点でさらに検討したい

少数数でのグループ分けで会議を進めることが必要。内容は、行財政運営の見直し。支所・公民館のあり方など、サービス低下にならないような方法で改革していかなければならない

会議はグループ分けし、1



この豊かな自然を未来に残したい

時間はグループ討議、1時間は全体で話し合うのどちらかみんながこの会をどのようにしたのが大事。2年間かけて最終的に何かを形に残せたらよいと思う

委員がそれぞれの地域をまとめることができれば、行政を動かすことができる。

テーマを分けてグループ分けしたらどうか

テーマを絞らず、各グループでさまざまな話し合いができる状態がいいのではないかと委員の推薦のない自治会に対して、もっと推薦を呼びかけたい

話し合いの結果、次回からいくつかのグループに分かれて討議を進めていくことに決まりました。

## オシドリの「町の鳥」指定を検討

町制50周年を記念し、町では、オシドリを「町の鳥」に指定することを検討しています。オシドリは、すでに鳥取県の鳥に指定されており、町でも「オシドリの住むまち」として全国に発信、そのイメージが定着しています。このことについても委員に意見を聴きました。



日野川のオシドリ観察小屋には、1000羽を越すオシドリが飛来

### 【町の鳥の指定について】

オシドリを「町の鳥」に指定することについては、良いことなので賛成である

ごみ収集車などにもオシドリが描かれており、すでに町の鳥に指定されていると思う

ていた

余った餌が水質の悪化につながるような配慮はないか、決して反対ではないが、オシドリの餌にカモが集まり、農作物にも影響が出ていることも知ってほしい

### 次回の会議は、

8月20日（木）に開かれる予定です